

= 活動報告 =

各種会議の概要について

常任理事会

- ◇日時 4月24日（水）12:30～14:20
- ◇場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 会議室
- ◇出席者 小林会長、坂本副会長、村松副会長、後藤副会長、田口常任理事、藤井常任理事
事務局：遠藤専務理事、落合常務理事、塩島業務部長、名取指導課長、飯島総務課長、塚原業務課長、坂巻経理課長代理、山下参与
塚原業務課長、坂巻経理課長代理
- ◇審議事項
- 1) 令和6年度通常総会（通常総代会）の開催について
 - 2) 振興会 令和5年度事業報告並びに収支決算（案）について
 - 3) 商工組合 令和5年度事業報告並びに収支決算（案）について
令和6年度事業計画並びに収支予算（案）について
 - 4) 政治連盟 令和5年度活動報告並びに収支決算（案）について
令和6年度活動計画並びに収支予算計画（案）について
 - 5) 今後の諸会議日程等について

AMS山梨青年部の活動について

運営委員会

- ◇日時 4月12日（金）19:30～20:30
- ◇場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 大講堂
- ◇出席者 運営委員 26名
- ◇審議内容
- 1) 各委員会（広報・技術・交流・経営）活動予定等について
 - 2) その他

= お知らせ =

令和6年度『不正改造車を排除する運動』について

令和6年6月1日（土）～6月30日（日）の1ヶ月間は

「不正改造車排除強化月間」

「不正改造車を排除する運動」の実施に関する国土交通省の通達がありましたので、下記のとおりお知らせ致します。令和6年度においても、全国的に不正改造車の排除のための諸活動に、なお一層強力に取り組むよう本運動の趣旨・実施事項等を踏まえ、ご協力をお願いします。

なお、会員の皆様に配布しております本運動のポスター及び不正改造車排除マニュアルにつきましては、完成次第会員の皆さまに配布させていただきますのでご承知置き下さい。

【目的】

我が国の自動車保有台数は、令和5年12月末現在で8千万台を超えており、自動車は国民生活にとって欠かすことのできない移動・輸送手段となっている。一方、昨年の交通事故による死者数は2,678人、負傷者数は約36.5万人と、依然として多くの方が事故の被害に遭われている。

このような状況にあって、暴走行為、過積載等を目的とした不正改造を施した自動車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となっていることから、社会的にその排除が強く求められている。

このため、自動車関係団体等の協力を得つつ、「不正改造車を排除する運動」を全国的に展開し国民の不正改造排除の意識を高めることにより、車両の安全確保・環境保全を図り、ひいては国民の安全・安心の確保を確実に実現する。その際、「自動車点検整備推進運動」など他の運動等との連携を図っていく。

【実施事項】

1. 重点排除項目

- (1) タイヤ及びホイール（回転部分）の車体外へのはみ出し
- (2) 灯光の色が不適切な灯火器及び回転灯等の取付け並びに保安基準上、装備が義務化されている灯火器（例：側面方向指示器）の取外し
- (3) 前面ガラス並びに運転者席及び助手席の窓ガラスへの着色フィルム等の貼付（貼付状態で可視光線透過率70%未満）
- (4) マフラーの切断・取外し及び騒音低減機構を容易に取外せる等の基準不適合マフラーの装着
- (5) 大型貨物自動車の速度抑制装置の取外し、解除又は不正な改造、変更等

2. 基本排除項目

- (1) 直前直左の周辺状況を確認するための鏡、又はカメラ及び画像表示装置の取外し
- (2) 前面ガラスへの装飾板の装着
- (3) 土砂等を運搬するダンプ車の荷台へのさし枠の取付け及びリアバンパ（突入防止装置）の切断・取外し
- (4) 基準外のウイング（エア・スポイラ）の取付け
- (5) シートベルト警報装置を解除する用品等の取付け
- (6) 不正な二次架装

3. 地方独自排除項目

各地方運輸局及び各運輸支局は、上記1及び2の排除項目のほか、地域の事情や要請を考慮した地域独自の排除項目を設定するよう努めるものとする。

4. 自動車整備事業者における実施事項

「不正改造車を排除する運動」のポスターを掲示する等により、自動車ユーザーに不正改造防止を周知し不正改造車の排除に努めるとともに、不正改造車排除マニュアル等を活用して下記事項を実施して下さい。

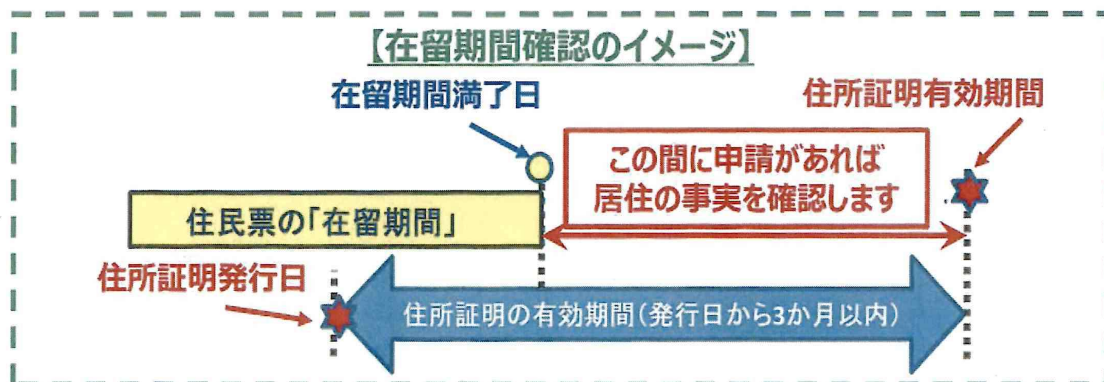
- (1) 不正改造車の排除のための啓発等
 - 適正な整備・改造の推進
 - 従業員に対する指導等
- (2) 不正改造車の排除のための情報収集等
 - 不正改造車に関する情報等の提供
- (3) 不正改造車の排除のための取締り等
 - 自主点検の実施

不正な申請を未然に防止するため住民票等に記載された「在留期間」を確認します

軽自動車の名義変更や新規検査等を申請する場合は、「使用者の住所を証する書面」として新たに使用者となる方の住民票等の添付が必要となっております。

4月15日より、不正な申請を未然に防止するため、「使用者の住所を証する書面」としてご提出いただいた住民票等に在留期間が記載されている場合は、在留期間の満了日を確認することといたしました。

なお、在留期間が申請時において既に経過している場合は、新たに使用者となる方が住民票等に記載された住所に居住されている事実を確認し、居住されていないことが判明した際には、申請書類を返却いたします。



【ご留意いただきたい事項】

- 居住されている事実の確認に時間を要する場合があります。
- 住民票等に記載された在留期間が経過している場合は、在留期間の更新を確認するため、在留カード等のご提示をお願いする場合があります。
- 在留期間が記載されていない書面を無効とするものではありません。

詳細については、職員にご相談ください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記録簿等の価格改定について

定期点検記録簿及臨時整備記録簿及び生涯記録簿等及びくじ付きハガキ・お楽しみくじ付きシールについて、仕入先より原材料価格の高騰に加え、運送費用等の上昇や副資材の調達コスト上昇も続いていることから、記録簿類の価格改定の連絡がありました。

当会においても、自助努力だけではコスト増を吸収できない状況となるため、やむを得ず下記のとおり頒布価格の改定を行うことといたします。

何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・ 価格改定実施日 令和6年5月1日（水）から
- ・ 改定価格一覧

商品名	旧販売価格	新販売価格
定期点検記録簿 事業用	¥310	¥360
定期点検記録簿 貨物	¥210	¥250
定期点検記録簿 二輪	¥210	¥250
定期点検記録簿 乗用（1年）	¥510	¥600
定期点検記録簿 被牽引	¥310	¥360
臨時整備用特定整備記録簿	¥470	¥550
生涯整備記録簿	¥160	¥250
くじ付きハガキ（1枚）	¥16	¥18
お楽しみくじ付きシール（100枚）	¥1,580	¥1,850

自動車技術総合機構からのお知らせ

認証工場の受検者の皆様

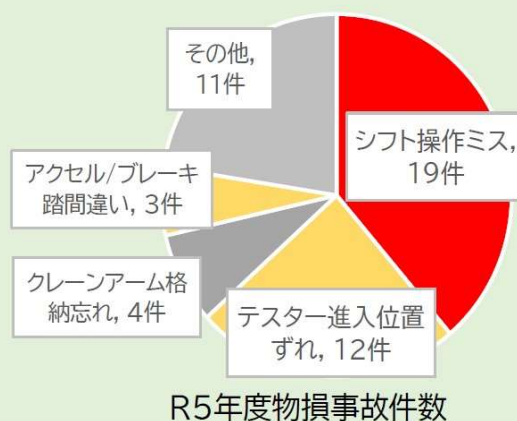
シフト操作に起因する事故にご注意下さい。

令和5年度に当機構の検査場にて49件の物損事故が発生しました。

シフト操作の誤りに起因する事故と、テスター進入時に車両の位置がずれた事に起因する事故が多く発生しています。

特にシフト操作起因事故は増加傾向にあり、令和5年度は19件と最も多い事故形態でした。19件の内、13件が認証工場の受検者による事故です。

シフト操作起因事故の典型は、Pレンジにせず、かつ駐車ブレーキをかけず降車し、無人の車両が前方もしくは後方に自走し他の受検車両や機器等に衝突する事故。令和5年度に13件発生。その他、ハイブリッド車の整備モード移行時の誤操作に起因する事故等。



《 事故事例 》

排ガス検査を実施しようとしたところ、Dレンジのまま降車しており車両が前進、ヘッドライトテストに衝突して停止。テストがレールから外れ破損。



シフト操作に起因する事故は極めて危険な事故にもつながります。

車両の自走に気付き飛び乗る事ができたものの誤ってアクセルを踏み続け、車両や機器に高い速度で激突するケースです。

一度の事故で、お客様から預かった車両、他の受検車両、ヘッドライトテスト等の機器や検査場の建物等に損害が発生し、高額な修理費用が発生した事例もあります。更に、他の受検者や当機構の職員が巻き込まれるおそれもあります。

また、機器の損傷事故はコースの閉鎖にいたる事が多く、受検者の皆様にご迷惑をお掛けする事になります。

昨年度は4ヶ月に渡り検査コースを閉鎖する事故が発生しております。

前頁に記しました13件の認証工場の受検者による事故の内、9例が毎週もしくは毎日受検されている方々で、受検歴が30年を超える方もおられます。シフト操作起因事故は検査に精通された方でも多数発生しております。

慣れた作業であっても、確実な確認と操作をお願い致します。

《 事事故例 》

駐車ブレーキ検査を終え輪止めを外したところ、Pレンジに入れていたつもりがRレンジに入っており車両が後退し、後方で待機していた車両に衝突。



OBD検査システムの「事業場ID申請」を受付けております

10月より、検査用スキャンツールを用いたOBD検査の本格運用が開始されます。この本格運用に向けたプレ運用（習熟期間）が昨年10月から開始されました。

認証及び指定工場においてOBD検査及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムに「事業場ID申請」が必要となり、4月より「OBD検査ポータルサイト」において受付が開始されております。OBD検査システム及び登録に必要な情報は下記のOBD検査ポータルサイトからご確認ください。

（各種マニュアル類も下記のOBD検査ポータルサイトから入手できます。）

<https://www.obd.naltec.go.jp/>

～【OBD検査について】～

- 指定工場は、対象車の完成検査時に「OBD検査」が必要になります。
（検査用スキャンツールを使用します。）
指定工場（対象自動車は大型特殊自動車、小型二輪自動車のみの事業場は除く）の利用登録は必須です。まだ、事業場ID申請がお済みでない指定工場は、早急に申請して下さい。
指定工場でのプレ運用は、国土交通省通達のとおり「OBD検査モード」だけでは適否の判定まで進めないため、『初回アプリ使用済』にはなりません、「OBD確認モード」で「実行」を行うと『初回アプリ使用済』となります。OBD検査システムID申請済みの指定工場の皆さまは、処理状況が『初回アプリ使用済』となるようお願いします。
- 認証工場についても、自工場で検査用スキャンツールを使用して「OBD検査と同等の確認（OBD確認）」を実施した場合、原則として車検場においてOBD検査が省略されます。
- OBD検査（確認）及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムへの利用申請が必要になります。なお、自工場でOBD検査（確認）を実施せずに対象車を車検場に持ち込む場合には、OBD検査を車検場で実施するため利用申請は不要となります。
- OBD検査/確認における注意点等のお知らせについて
【VCIコネクタ接続不良によるDTC検出関係】
OBD検査プレ運用期間中に一部の車両において、VCIコネクタの接続不良により、DTCが検出される旨がOBD検査準備会合にて国土交通省から説明がありました。
今般、本件について、一般社団法人日本自動車工業会より、VCIコネクタ接続時の注意点や、接続不良によりDTC検出の可能性のある車両情報等を取りまとめた資料の提供があり、日整連ニュース5月号に掲載されておりますので、ご参照ください。

<振興会が実施する一括申請について(会員様向け)>

OBD検査システムの利用を希望する会員事業場の情報を振興会でとりまとめて、自動車技術総合機構（運用管理センター）に「事業場ID申請」を一括申請いたします。

振興会を経由した一括申請を希望される場合は、振興会ホームページ→会員ページ→会員専用ページ→振興会からのお知らせ→OBD検査システムのID一括申請について→PDF資料

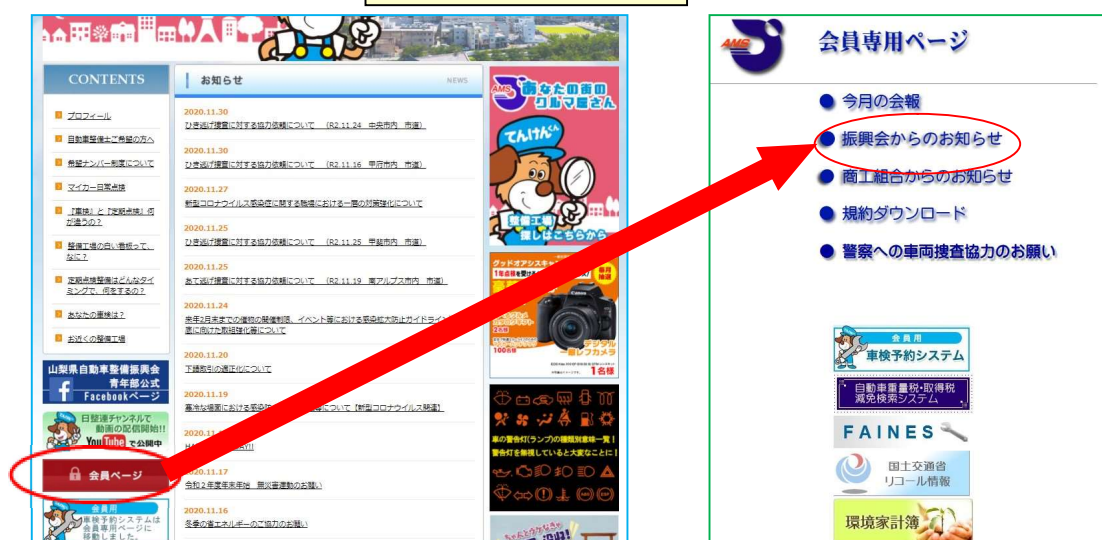
を参照していただき必要書類(Excel データ)を添付の上、下記アドレス宛にメール送信にてお申し込みください。なお、送信元であるメールの件名は「OBD検査システムのID一括申請」と入力して送信してください。

今般、自動車技術総合機構より、先般実施された OBD 検査関係通達に係るパブリックコメントの結果等も踏まえ、各自動車整備振興会における OBD 検査システム ID 一括申請の受付については、令和 6 年 9 月 30 日をもって終了する旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

10月1日以降のOBD検査システムへの登録につきましては、各事業場において個別で申請となりますのでご承知置き下さい。

メールアドレス sidou@ams-net.jp

振興会ホームページ



①振興会ホームページ会員ページへ
(ユーザー名 **ams** パスワード **amskaiin**)

②振興会からのお知らせ
ボタンをクリック

③🚗 OBD検査システムのID一括申請について ④必要書類(Excel データ)を添付
→PDF 資料参照 の上、メール送信

なお、振興会が実施する一括申請は登録のみとなります。その後は自動車技術総合機構（運用管理センター）より申請完了及びクライアント証明書の招待コードのメールが届きますので、ご確認頂き、各事業場で作業（アプリのインストール等）を進めてください。

また、振興会での一括申請は複数の事業場から申請があることから、登録には一定の時間を要します。早急に事業場 ID が必要な方は [OBD検査ポータル \(naltec.go.jp\)](https://naltec.go.jp) 【独立行政法人自動車技術総合機構】より個別に事業場登録をお願いします。

<検査用スキャンツールの認定機器一覧の公開について>

10月よりOBD検査制度が導入されるに伴い、一般社団法人日本自動車機械工具協会のホームページにおいて、認定された検査用スキャンツール型式一覧表が掲載されています。今後も随時更新されますので、必要に応じてご確認ください。

一般社団法人日本自動車機械工具協会ホームページ <https://www.jasea.org/>

＊ 関東運輸局ではOBD検査のプレ運用開始に伴い、自動車整備業の皆様に広く意見を徴集すべく、パブリック・コメント(意見・要望の公募)を実施しています。

つきましては、各支部より寄せられたご意見(3月分)と、関東運輸局のご回答を、下記のとおり報告します。

OBD検査におけるご意見・ご要望等がありましたら、山梨県自動車整備振興会ホームページより、回答フォーマットをダウンロードしていただき下記によりご提出ください。

提出先 振興会メール (sidou@ams-net.jp) または FAX (055-263-4420)

回答フォーマット リンク先よりダウンロードしてください。

リンク先 amsdl.ams.or.jp/shinnkoukai/OBDiken/OBD.htm

事業者からの意見等		(3月分)
	意見など	回答(関東運輸局)
1	OBD検査の実施場所は敷地内どこでもいいと聞いたのですが同一敷地内の車両置場でもいいのですか？	指定(認証)を受けた事業場の敷地の範囲内であればOBD検査(確認)の実施が可能です。
2	ライドシェア車の年次検査とは何を行うのですか？ ライドシェア車(自家用乗用)の車検は2年ごとですかそれとも1年ごとですか？	指定自動車整備事業者の自動車検査員又は独立行政法人自動車技術総合機構の自動車検査官(検査対象軽自動車にあっては軽自動車検査協会の軽自動車検査員)が、継続検査と同じ方法により保安基準に適合するかどうか確認することにより行います。 また、ライドシェアの事業者は自家用車活用事業の用に供する自家用自動車の年次検査の記録(検査結果の写し、電子データ等)を2年間保存することとなります。
3	入庫時にライドシェア車かどうかを見分ける方法がありますか？	ライドシェア車の年次検査であるかどうか、依頼者の申告によりご判断いただくこととなるかと考えます。

OBD検査に関するご質問



■ 最新情報はこちらで

OBD検査ポータルサイト：



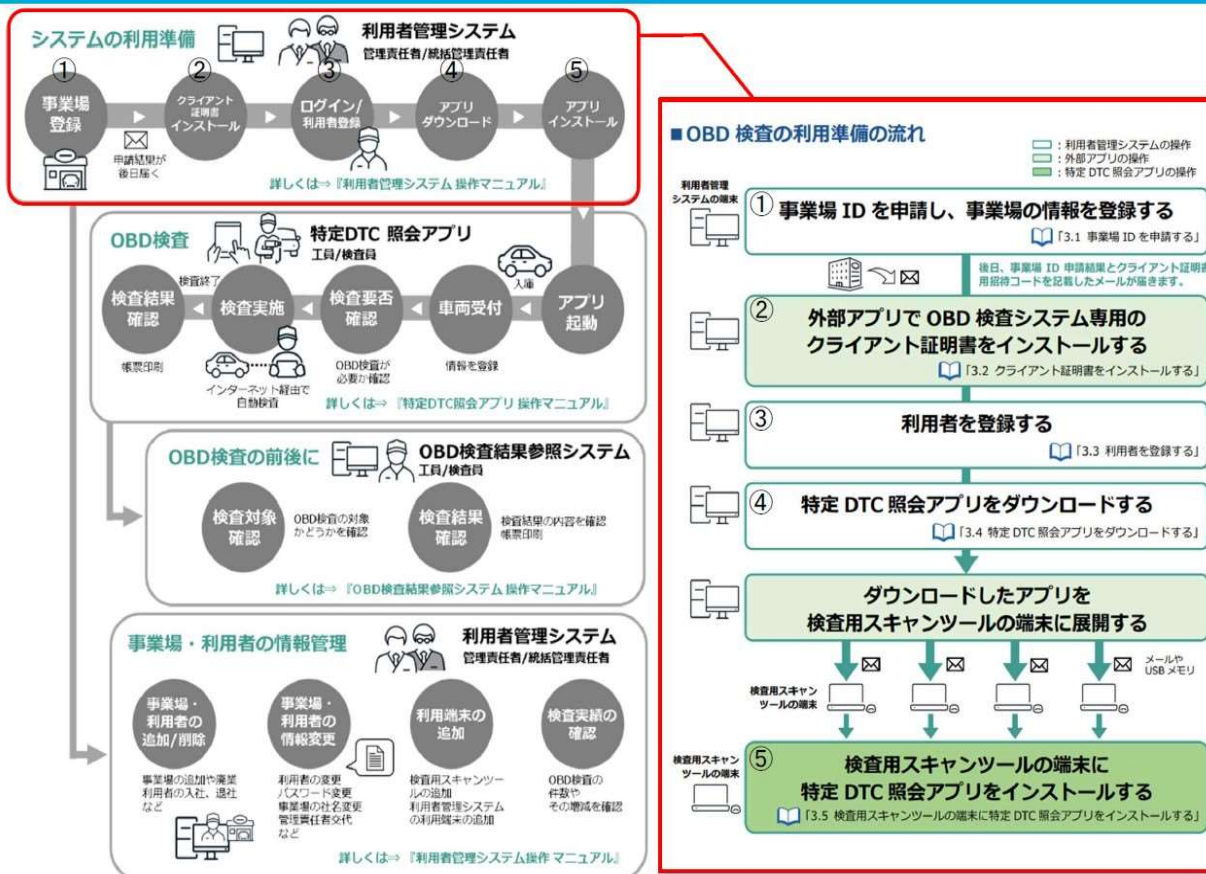
OBD検査準備会合：



■ お困りの時はこちらへ

OBD検査コールセンター： 0570-022-574

OBd検査システム利用までの道のり



OBd検査システム利用までの道のり

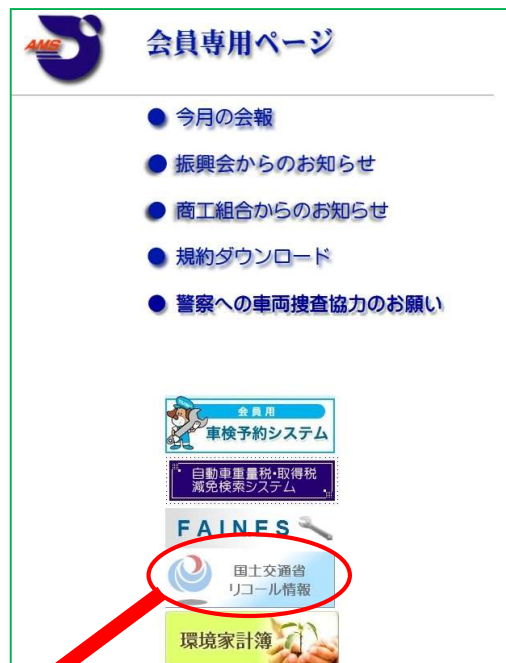
指標	できること	準備するもの
1. 事業場登録	- 事業場情報の登録 (OBd検査システムを利用するには事業場ID登録が必須です) ※OBd検査に向けた必要な準備ができています。	- PC、タブレット (Window10以上) - インターネット環境 - メールアドレス - 事業場ID登録の申請
2. 初回ログイン (利用者登録)	- 利用者管理システムの起動 - 利用者の登録 (工員や検査員などのシステムの利用者登録) ※クライアント証明書が適切に発行されインストールできるか把握することができます。	- クライアント証明書のインストール - 初期パスワード変更
3. 初回アプリ使用	- アプリの起動 - 車両の受付 - OBd検査の要否確認 ※アプリのインストール及びOBd検査を行う操作ができるか把握することができます。	特定DTC照会アプリのインストール
4. OBd検査プレ	- OBd検査の試行・習熟 ※スキャンツールの通信状況などOBd検査全般の問題点など把握することができます。	- 検査用スキャンツール - 車両 (J-OBd II 以降)

リコール検索システムをご利用ください

整備事業者がリコール情報を確認する方法として、各自動車メーカーのホームページにアクセスし、車台番号等を入力することにより行っていますが、車両により異なるホームページにアクセスしなければならないなど煩雑であることから、国土交通省並びに日本自動車整備振興会連合会（日整連）ではリコール検索システムを展開しています。

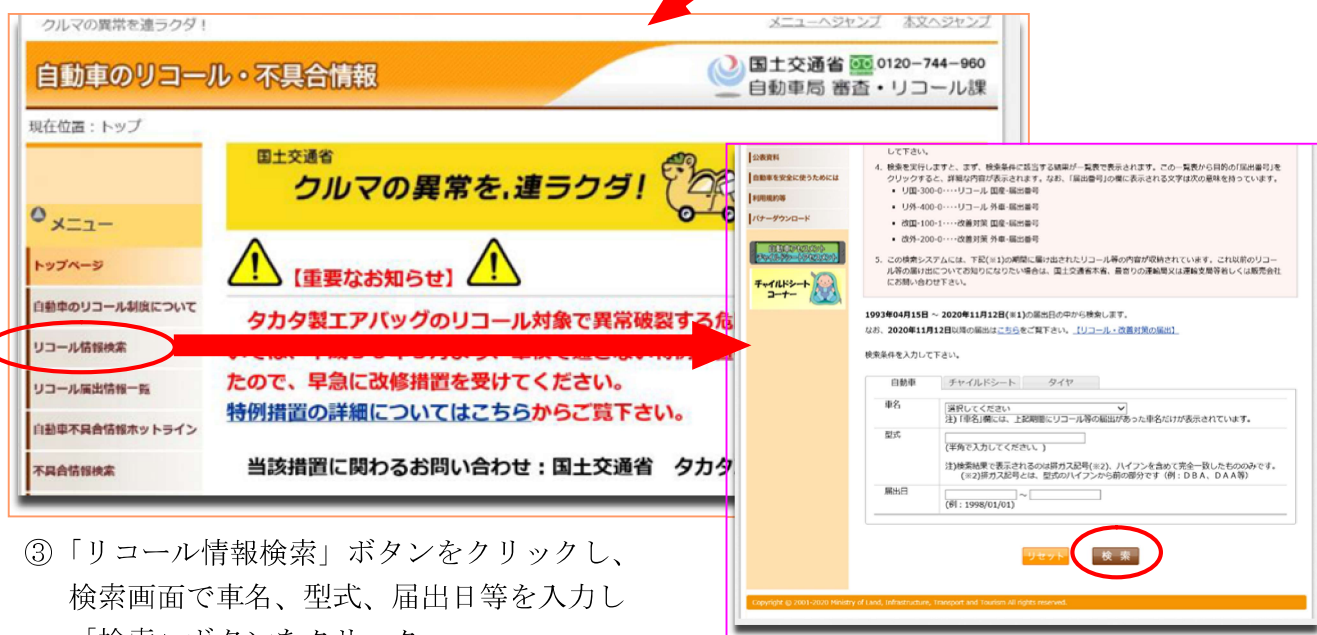
入庫車両のリコール状況を確認する手段として標記検索システムのご利用をお勧めします。

リコール検索システム（国土交通省）（振興会ホームページからリンク）



①振興会ホームページ会員ページへ
（ユーザー名 ams パスワード amskaiin）

②「国土交通省リコール情報」
ボタンをクリック



③「リコール情報検索」ボタンをクリックし、
検索画面で車名、型式、届出日等を入力し
「検索」ボタンをクリック



①日整連ホームページ下段へ

②「リコール情報検索」ボタンをクリック

③メーカーを選択し、車台番号全桁を半角大文字で入力し、「検索する」ボタンをクリック

車両リコール状況確認

メーカーを選択し
車台番号を入力してください

メーカー

車台番号（半角大文字で入力してください）

例）ABC-1234567890

検索する